

力学量の計量は産業の基礎

目的:

力学量計測技術の研究開発を通して、産業界の発展や安全・安心の社会の確立に貢献します。

背景:

当部会では、「はかり」の活用技術を中心とする質量計測をはじめ、力、トルク、圧力など力学量全般の計測技術に関する研究を行っています。

戦略:

力学量計測の静的・動的な計測の信頼性確保と高精度化により、輸送機器や電気・電子機器などの開発・製造・保守において、従来より省資源・省エネルギーでかつ高機能・高安全性の製品の製造に寄与します。

活動:

2017年度は、SICE2017（金沢）、APMF2017（タイ）、IMEKO2017（フィンランド）などの国際研究集会に参加し、研究成果の普及を行いました。

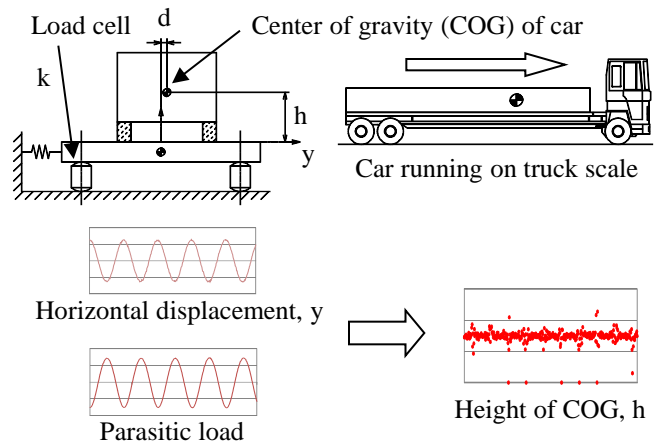
委員構成:

- 主査: 梅本 敏孝(大阪府立大高専)
- 副主査: 大串 浩司(産総研)
- 幹事: 小島 桃子(産総研)

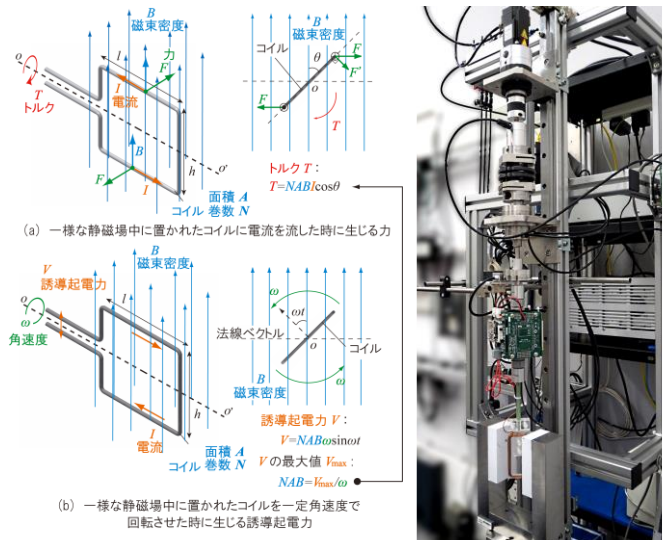
6名の顧問と39名の委員により、部会が運営されています。



力学量計測部会の活動形態



走行している車両の荷重位置の動的計測



開発された電磁力式トルク標準機(微小トルクの実現)